

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	地理
科目基礎情報						
科目番号	0021		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	生産デザイン工学科 (電気電子コース)		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	「高等学校 新地理A」 荒井良雄ほか(帝国書院) 編集					
担当教員	白神 宏					
到達目標						
産業活動の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について理解できる。 社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組みについて理解できる。 世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について理解できる。 国家間で見られる文化的相違に起因する諸問題について理解できる。 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。 環境今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつきの現状とそのさまざまな背景について理解できる。 問題、資源・エネルギー問題等の地球的諸課題とその背景について理解できる。 世界各国の国名等の知識を習得できる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		産業活動の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。	産業活動の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響についておおむね理解できる。	産業活動の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できない。		
評価項目2		人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について理解できる。	人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響についておおむね理解できる。	人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について理解できない。		
評価項目3		社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組みについておおむね理解できる。	社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組みについて理解できない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	グローバルな視野を持った創造的技術者を育成するため、現代世界の国々についての地理的理解を図る。その際、自然環境や人間活動が社会に及ぼす影響について考察するとともに、今日の国際社会が抱える諸問題を地理的な視点で捉える。系統地理的・地誌的アプローチをする。					
授業の進め方・方法	教科書の主要部分を取り上げて授業を進めるが、プリント資料等で詳しく考察する所もある。教科書を読んで予習し、初めての地名は地図帳で位置を確かめること。授業中は教科書・地図帳・プリント等をフルに活用して進めるので、ノート筆記を工夫して自分なりのノートを完成してほしい。適宜考えや意見を問うので自分なりの考えを述べる習慣をつけること。試験前は教科書や地図帳・ノート・プリントを中心に復習に努めること。普段からラジオやテレビ・新聞・書物等で地理や旅に関するものに親しんでほしい。隔週で州ごとの国名等を問う小テストを行い、9月末には世界全体の国名等を出題範囲とする課題テストを実施する。					
注意点						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	地球上の位置	天体としての地球の特性を理解し、様々な国や地域の位置関係を考察することができる。		
		2週	国家の領域と領土	国家および国家をめぐる諸問題の背景を理解することができる。		
		3週	世界を結ぶ交通	世界の交通の現状や発達過程、交通が人間活動に与える影響について理解することができる。		
		4週	世界をひとつに結ぶ通信	世界の通信の現状や発達過程、通信が人間活動に与える影響について理解することができる。		
		5週	拡大する世界の貿易	世界の貿易の現状およびそこに生じる諸問題について理解することができる。		
		6週	観光の国際化と人々の移動	世界の観光の現状およびその変化が人間活動に及ぼす影響について理解することができる。		
		7週	領土問題	領土をめぐる諸問題の現状とその背景について理解することができる。		
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	試験解説と授業			
		10週	世界の大地形と人々の生活	世界の大地形形成の仕組みを理解し、これらが人々の暮らしに与える影響について考察することができる。		
		11週	山地・平野の地形と人々の生活	山地や平野の形成の仕組みを理解し、これらが人々の暮らしに与える影響について考察することができる。		
		12週	熱帯・乾燥帯の気候と生活	熱帯・乾燥帯の気候的特性を理解し、これらが人々の暮らしに与える影響について考察することができる。		
		13週	温帯・亜寒帯・寒帯の気候と生活	温帯・亜寒帯・寒帯の気候的特性を理解し、これらが人々の暮らしに与える影響について考察することができる。		
		14週	地球温暖化	地球温暖化の問題について気候的視点から理解し、解決の糸口を考察することができる。		
		15週	期末試験			
		16週	試験解説			
後期	3rdQ	1週	生活と産業 (1)	農牧業の地域的特性、社会に及ぼした影響について理解できる。		

		2週	生活と産業（２）	工業の地域的特性、社会に及ぼした影響について理解できる。
		3週	生活と文化（１）	世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について理解できる。
		4週	生活と文化（２）	世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について理解できる。
		5週	資源・エネルギー問題（１）	資源・エネルギー問題とその背景について理解できる。
		6週	資源・エネルギー問題（２）	資源・エネルギー問題とその背景について理解できる。
		7週	人口・食料問題	人口・食糧問題とその背景について理解できる。
		8週	民族問題	国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について理解できる。
	4thQ	9週	東アジア	東アジアの地理的特性を理解し、この地域が抱える諸問題について考察できる。
		10週	東南アジア・南アジア	東南アジア・南アジアの地理的特性を理解し、この地域が抱える諸問題について考察できる。
		11週	西アジア・北アフリカ	西アジア・北アフリカの地理的特性を理解し、この地域が抱える諸問題について考察できる。
		12週	中南アフリカ	中南アフリカの地理的特性を理解し、この地域が抱える諸問題について考察できる。
		13週	ヨーロッパ	ヨーロッパの地理的特性を理解し、この地域が抱える諸問題について考察できる。
		14週	南北アメリカ	南北アメリカの地理的特性を理解し、この地域が抱える諸問題について考察できる。
		15週	定期試験	
		16週	試験解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地歴	産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。	1	前9
				人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、地理的または歴史的観観点から理解できる。	1	後2
				社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	1	
				日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できる。	1	後3
				国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。	1	後7
				文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。	1	
			公民	資本主義経済の特質や財政・金融などの機能、経済面での政府の役割について理解できる。	1	
				現代社会の政治的・経済的諸課題、および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	1	
			地歴・公民	現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会や自然環境に与える影響について理解できる。	1	
				社会や自然環境に調和し、人類にとって必要な科学技術のあり方についての様々な考え方について理解できる。	1	
				今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつきの現状とそのさまざまな背景について理解できる。	1	前7
				環境問題、資源・エネルギー問題、南北問題、人口・食糧問題といった地球的諸課題とその背景について理解できる。	1	後4,後6
				国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	1	
	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	1	

評価割合

	試験	ノート	課題	小テスト	課題テスト	合計
総合評価割合	75	10	5	5	5	100
基礎的能力	75	10	5	5	5	100